

保証型防災情報システムと原子力災害などに対する住民の安心感に関する考察

角本 繁¹

¹東京工業大学

E-mail: kaku@dimssis.jp

東日本大震災に際して、有効であった情報システムの紹介は多いが、激甚災害に見舞われた地域で確実に使えたシステムに対する考察はまだ見ていない。住民が自分たちが救われると納得する防災システムのあり方を考察する必要がある。原子力関連の被害を受けた住民（国民）が、原子力を容認するための防災システムのあり方を探ることで、そのヒントが得られると考える。本発表では、個人的な考察に関して話題提供をしたい。

キーワード：